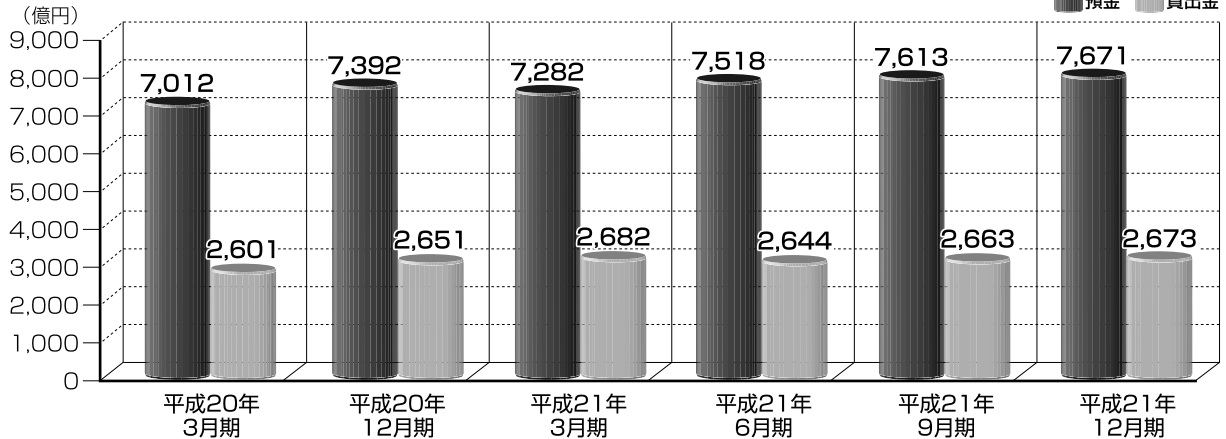


1. 預金・貸出金の残高



2. 有価証券の状況

(単位:百万円)

		平成21年12月期				
		残高	評価損益	対平成21年3月期増減額	うち評価益	うち評価損
保有目的別	満期保有目的	71,380	120	120	156	35
	その他有価証券	407,912	△4,745	2,124	5,854	10,599
合計		479,293	△4,624	2,245	6,010	10,634
種 類 別	株式	10,556	978	849	1,421	442
	債券	401,590	3,753	6,207	4,589	836
	その他(米国債・ドイツ国債他)	67,146	△9,356	△4,811	—	9,356

(注) 1. 売買目的有価証券、子会社・子法人等株式及び関連法人等株式に区分した有価証券はありません。
 2. 「評価損益」は、平成21年12月末時点の帳簿価額(償却原価法適用前、減損処理前)と時価との差額を計上しております。
 なお、「評価損益」の算定に際し、理論価格を時価として採用したものではありません。
 3. 「その他」の残高の内訳は、米国債・ドイツ国債が67,095百万円、匿名組合出資金が50百万円となっております。

3. 不良債権の状況 金融再生法開示債権

(単位:百万円)

	平成21年3月期	平成21年9月期	平成21年12月期	対平成21年3月期増減額
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,578	5,281	5,921	1,343
危険債権	3,834	3,490	3,506	△327
要管理債権	1,013	1,078	1,010	△3
不良債権合計	9,426	9,850	10,438	1,012
(不良債権比率)	(3.49%)	(3.68%)	(3.88%)	(0.38%)
正常債権	260,125	257,739	258,226	△1,899
合計	269,552	267,589	268,665	△886

(注) 平成21年12月期の各数値は、平成21年9月期に実施した自己査定結果をもとに12月末までに倒産、不渡り、当組合が実施する信用格付に変動があった等業況に一定の変化が生じた債務者について、当組合の自己査定基準に基づき債務者区分の見直しを行ったものです。

4. 平成22年3月期予想

●当期純利益

(単位:百万円)

	平成21年3月期	平成22年3月期予想
当期純利益(△は当期純損失)	△4,481	中間期に上方修正した20億円から再修正し、30億円を見込んでおります。

●自己資本比率

		平成21年3月期	平成22年3月期予想
自己資本比率	従来基準	11.35%	期初予想の12%前後から上方修正し、14%前後を見込んでおります。
	特例措置適用	14.01%	期初予想の14%台から上方修正し、15%台を見込んでおります。

【特例措置とは】自己資本比率規制の一部弾力化により、平成24年3月までは、その他有価証券の評価差損を分子である自己資本額から控除しないという経過措置のことです。

●不良債権比率 金融再生法開示債権ベース

不良債権比率は、期初予想の3%前後から下方修正し、3.5%前後を見込んでおります。

年金のお受け取りは けんしんへ。



けんしんは、豊かなシニアライフを
応援しています。



長野県信用組合 **けんしん**

【ホームページ】<http://www.naganokenshin.jp>